

NAGASE

長瀬産業株式会社

■ 証券コード: 9012

Nagase Report

第96期中間株主通信

2010年4月1日▶2010年9月30日

CONTENTS

P1 株主の皆様へ／連結決算チェックポイント

P3 トップインタビュー

P5 トピックス

P7 連結財務諸表

P9 会社概要／株式情報

P10 CSR活動のご報告

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第96期中間株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶させていただきます。

上期におけるわが国経済は、海外経済の減速懸念や円高進行などによる先行き不透明感が強まる中、政府補助金への駆け込み需要や、主に中国を中心とするアジアの旺盛な需要により堅調な推移となりました。

このような状況のもと、当社グループの営業状況は、化成品、合成樹脂、電子の各セグメントともに好調な販売成果を上げ、当上期の連結業績は、増収とともに大幅な利益回復を果たすことができました。

下期については、新興国経済の内需拡大に支えられ回復から拡大基調にあった世界経済にも鈍化が見られる一方、個人消費に対する政策効果の剥落懸念等から、日本経済の先行きには不透明感が拡大してきております。その中で当社グループは、中期経営計画「“CHANGE”II」の目標達成に向けて邁進し、同計画を通じて目指す「事業と運営の質の向上」を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き当事業にご理解をいただき、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2010年12月

代表取締役社長 長瀬 洋

各市場の需要回復を受け、増収とともに大幅な利益回復を遂げました。

- 化成品、合成樹脂、電子ともに 需要の好転を受け、期初予想を上回る成果。
- 海外販売は前年同期比 24.4% 増。アジアを中心に自動車関連、携帯端末等が拡大。
- 液晶・半導体関連ビジネスの増加 も利益回復に貢献。

各種色材や情報伝達の最先端材料、幅広い石油化学製品の供給。

売上高 1,265億円
営業利益 47億円

上期の概況

業界全体の需要回復により、機能化学品、色材、スペシャリティケミカルの全事業において増収。海外は、中国・華南地域の印刷関連事業の販売減を除き、全般に増収。

自動車業界など様々な産業分野をサポートする製品提供とサービス。

売上高 1,100億円
営業利益 25億円

上期の概況

海外販売は、北東および東南アジア、北米の全地域で大きく増加。国内は、OA・家電関連用途、自動車関連用途の順調な拡大により、全体としては大幅増収。

半導体・液晶関連業界にとって不可欠な材料、装置をトータルにカバー。

売上高 685億円
営業利益 31億円

上期の概況

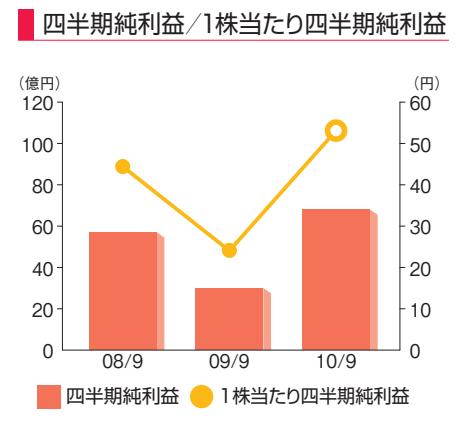
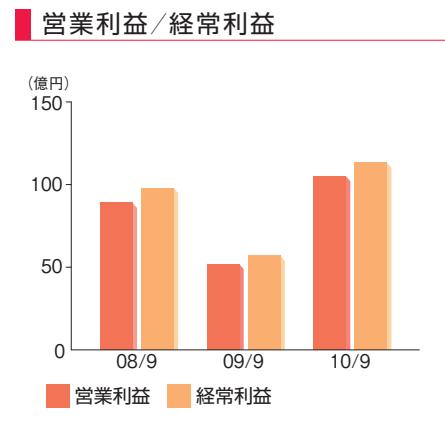
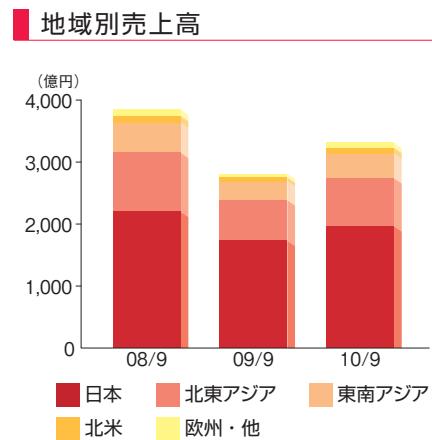
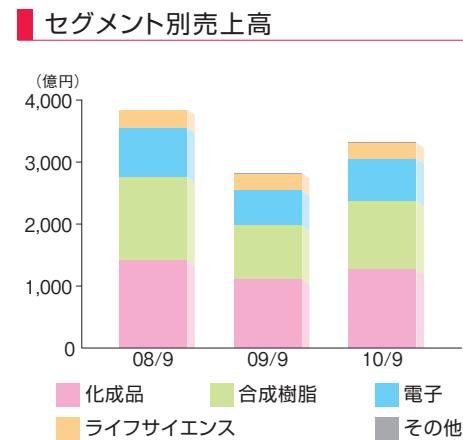
新規商材が伸長したディスプレイ関連をはじめ、半導体業界、ハードディスク業界の好調な需要や自動車関連の復調を受けて、大幅増収。海外販売も全地域で増加。

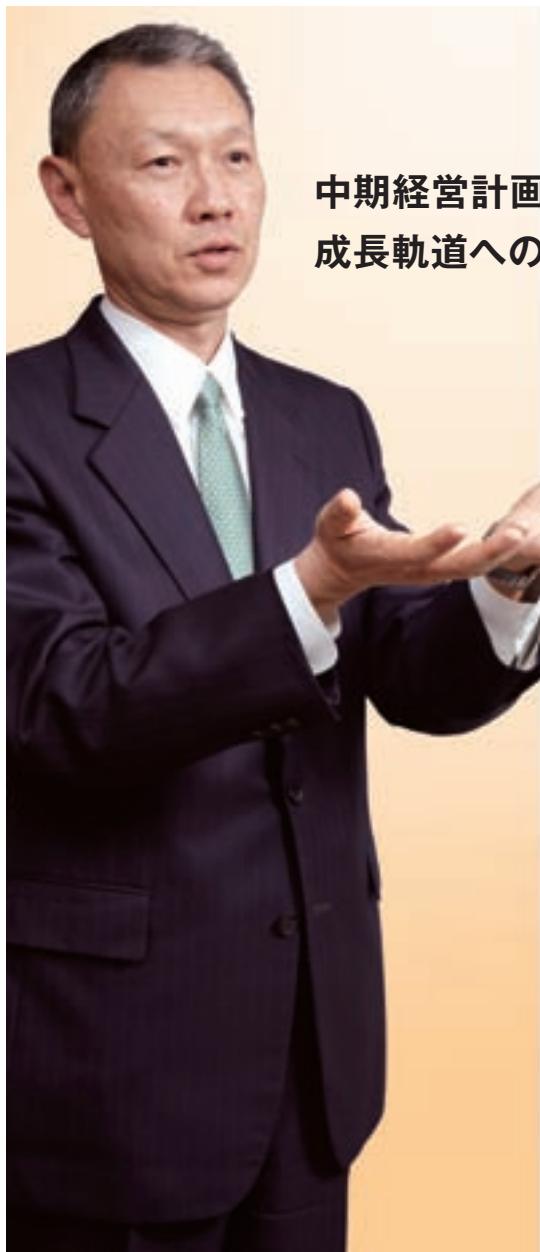
医・食・住（環境）に関する商品・サービスおよび化粧品・健康食品の製造・販売を展開。

売上高 256億円
営業利益 5億円

上期の概況

ビューティケア事業は、新製品が好調ながら既存商品の落ち込みをカバーできず微減。ファインケミカル事業は、生活資材関連の売上が減少。全体として減収。





中期経営計画に掲げる「事業と運営の質の向上」を推進し、成長軌道への本格回帰とさらなる飛躍を果たしてまいります。

代表取締役社長 長瀬 洋

Q

上期における市場の回復状況と営業成果についてお聞かせ下さい。

A

需要の拡大により、主要分野で大幅な増収を確保するとともに、全ての地域で利益面の回復を果たしました。

当社グループ事業にかかわる各市場は、前期後半からの需要回復傾向を維持し、自動車、電機・電子業界など主要顧客の状況は、概ね堅調に推移しました。その結果、当社グループの営業においても、ライフサイエンス分野を除く全ての分野で大幅な増収と営業増益を遂げました。

地域別に見ると、国内では化成品と電子の伸びによる増益効果が著しく、合成樹脂もOA・家電および自動車関連用途の増加により黒字化を果たしました。北東アジアは、特に合成樹脂と電子が好調に推移し、大幅増益となりました。東南アジアは、自動車関連需要の増加を受けて合成樹脂が販売を伸ばし、各国の現地法人が軒並み回復、増

益を遂げています。北米は、自動車関連およびスマートフォン関連が伸長し、赤字を脱却しました。欧州は、電子の好調により増益となっています。

以上の結果、上期の連結業績は、国内販売が1,963億2千万円（前年同期比13.6%増）、海外販売が1,349億8千万円（同24.4%増）、売上高全体で3,313億1千万円（同17.8%増）となりました。利益面では、営業利益が105億3千万円（同100.2%増）と倍増し、経常利益が113億6千万円（同96.1%増）、四半期純利益が68億4千万円（同121.3%増）と、いずれも急回復を果たしました。

Q 中期経営計画「“CHANGE”11」の目標達成に向けて、この上期はどのような取り組みが進められましたか？

A 特に「グローバル化の推進」と「環境・エネルギー関連技術の取り組み」で、海外拠点の新設や、新組織の設置を行いました。

「“CHANGE”11」は、2012年3月期を最終年度とする3ヵ年中期経営計画で、この第2四半期末が折り返し地点となりました。同計画では、連結売上高7,200億円、連結営業利益150億円を目標に掲げ、基本戦略である「事業と運営の質の向上」に取り組んでいます。これは、事業の選択と集中を経て、より社会的価値の高い事業を推進するとともに、独自の技術・機能を強化し、グローバルな企業活動を支えるための経営管理体制を確立していくものです。

上期における取り組みとしては、「グローバル化の推進」のテーマのもと、メキシコ現地法人の設立および同国事業の強化、米国インディアナ州に自動車内装部品の合弁会社、中国江蘇省では樹脂中間体の受託生産を行う合弁会社の設立など、他、化粧品・健康食品関連においては、中国・大連市で店舗展開を開始しました。

また、「環境・エネルギー関連技術の取り組み」の一環として、新たにエナジーデバイス室を設置しました。エネルギー関連事業拡大に向け、リチウムイオン電池関連ビジネスを集約し、素材からアプリケーションまで一貫してフォローできる体制を構築してまいります。

この他、子育て支援企業の認定マーク「くるみん」を取得し、「ダイバーシティの推進とワークライフバランスの支援」というテーマにおいても進展しました。

Q 配当の実施と通期の見通しについてお聞かせ下さい。

A 先行き不透明な情勢が続くものと思われませんが、営業利益は、前倒しで計画達成を見込んでいます。

今回の中間配当につきましては、上期業績における利益の回復状況を勘案し、前年同期の実績より2円の増配となる1株当たり9円とさせていただきます。また、期末配当につきましても、同じく1株当たり9円の実施を予定しています。今後、成長軌道への本格回帰とさらなる飛躍を果たし、株主の皆様への還元を一層充実させるべく努力してまいります。

下期の見通しとしては、国内外の景気回復における減速傾向や円高の進行など、先行き不透明な情勢が続くものと思われませんが、上期の業績が期初の予想を上回ったことから、通期の連結業績については、売上高6,550億円（前期比8.5%増）、営業利益180億円（同37.1%増）、経常利益196億円（同33.2%増）、当期純利益120億円（同59.2%増）を予想しており、「“CHANGE”11」で掲げた2012年3月期の連結営業利益150億円は、前倒しで達成できる見込みです。

株主の皆様におかれましては、当社グループの将来性にご期待いただき、今後とも長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス ~Nagaseの今とこれから~

中期経営計画「*“CHANGE”II*」の重点施策として、当社は「グローバル化の推進」を掲げています。「グローバル化の推進」に向け、当社では①欧米ビジネスの再構築②アジアビジネスの基盤強化、という2軸を中心に海外展開を推進しています。上期に行った主な施策は以下の通りです。

高性能樹脂、China 中間体の受託製造会社設立

当社およびライトケミカル工業㈱は、中国江蘇省に高性能合成樹脂、中間体の受託生産を行う合弁会社「莱依特化工（常州）有限公司」を設立しました。2011年11月の稼働を目指し、年産5,000トン能力の工場の新設を計画しています。

中国国内での樹脂製品の製造委託需要が増加する一方で、現地調達に難しい品質や機能をもつ原料は日本製に依存するケースが多く、高品質・高機能が求められています。こうした需要に対応するため、新会社では当社のネットワーク・マーケティング機能とライトケミカル工業㈱の樹脂製品の製造・加工量産化技術を活用し、日本での製造と同等の品質・機能を有する原料・中間体を製造・供給します。

会社概要	
会社名	莱依特化工（常州）有限公司
所在地	中国江蘇省常州市国家高新技术産業開発区
資本金	600万米ドル
事業概要	高性能合成樹脂および中間体の受託生産

国内2拠点に新生産棟を建設

当社の100%子会社のナガセケムテックス㈱は、兵庫県播磨事業所および京都府福知山事業所にて生産棟を新たに建設します。播磨事業所では、携帯関連部品などの国内外での販売の伸長に伴う生産能力拡充のため、エポキシ樹脂製造につき新たに生産棟を建設します。2011年秋頃の完成を予定し、総額約23億円の設備投資を行い、安定供給を図ります。

福知山事業所では、当社グループのバイオ事業の基盤である酵素事業における独自製品を充実・拡大するため、新たに生産棟を建設することを決定しました。2012年夏頃の完成を予定し、総額約20億円の設備投資を行い、海外を含めたマーケットで販売していくことを目指します。

自動車内装部品生産に向け、USA 合弁会社を設立

当社およびキョーラク㈱は、アメリカインディアナ州に合弁会社「KN Platech America Corporation」を設立しました。新会社では日系自動車メーカーやTier1メーカーへ、SUV車に装着されるデッキボードや空調用ダクトの販売を計画しています。工場稼働に必要な整備を行い、2011年初頭からの量産開始を予定しています。

世界有数の自動車市場である北米の中でも、インディアナ州は日系自動車メーカーや関連するサプライヤーが集積しています。当社のネットワーク・マーケティング機能と、自動車内装用ブロー成型品で高いシェアを誇るキョーラク㈱の技術力を活用した事業拡大により、2014年には9ライン体制、売上高2,000万ドルを目指します。

会社概要	
会社名	KN Platech America Corporation
所在地	1755 McCall Drive Shelbyville, IN 46176
資本金	1,000万米ドル
事業概要	ブロー成型樹脂部品・製品の製造販売

北米事業拡大に向け、現地法人を設立

当社のアメリカ現地法人であるNagase America Corp.は当社グループの北米事業の更なる拡大を目指し、メキシコに現地法人「Nagase Enterprise Mexico S.A.de C.V.」を設立しました。Nagase America Corp.にとってはニューヨーク州、ミシガン州、カリフォルニア州に続く第4の拠点となります。

メキシコが自動車分野で米国向けの生産地になりつつある中、現地法人を設立することで市場に根ざしたきめ細かなサービスを提供し、ビジネス拡大を図ります。既存の合成樹脂に加え、今後は自動車シート用ウレタンなどケミカル分野の量的拡大や、当社の100%子会社であるナガセケムテックス㈱で製造するエポキシ樹脂などの拡販を目指し、将来的には中南米への進出を計画しています。

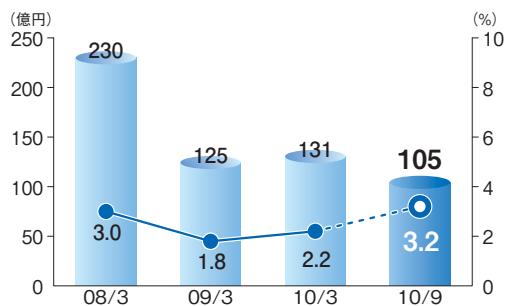
会社概要	
会社名	Nagase Enterprise Mexico S.A. de C.V.
所在地	Ejército Nacional #418, Oficina 302,col. Chapultepec Morales,C.P.11570,México,D.F
資本金	6,500千ペソ（約45百万円）
事業概要	輸出入販売、仲介貿易、市場開発、情報収集

■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

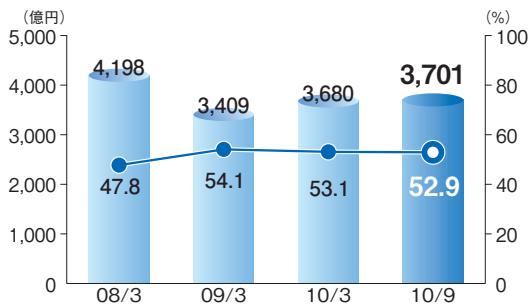
(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 2010年9月30日現在	前期末 2010年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	275,908	267,775
現金及び預金	41,445	42,807
受取手形及び売掛金	189,128	186,985
商品及び製品	33,851	28,456
仕掛品	439	566
原材料及び貯蔵品	2,013	2,029
その他	9,982	8,880
貸倒引当金	△951	△1,951
固定資産	94,288	100,313
有形固定資産	39,160	40,322
無形固定資産	2,731	2,522
投資その他の資産	52,396	57,468
投資有価証券	48,710	53,688
その他	4,177	4,164
貸倒引当金	△491	△384
資産合計	370,197	368,088
(負債の部)		
流動負債	140,729	137,114
支払手形及び買掛金	107,041	108,643
短期借入金	14,550	10,412
未払法人税等	3,701	1,992
引当金	3,152	3,065
その他	12,284	12,999
固定負債	26,113	28,221
長期借入金	10,463	11,104
繰延税金負債	7,570	9,498
退職給付引当金	7,144	6,815
その他	935	802
負債合計	166,843	165,335
(純資産の部)		
株主資本	191,101	185,599
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	10,040	10,040
利益剰余金	176,790	171,286
自己株式	△5,429	△5,427
評価・換算差額等	4,803	9,744
その他有価証券評価差額金	11,400	14,961
繰延ヘッジ損益	△3	8
為替換算調整勘定	△6,593	△5,225
新株予約権	235	235
少数株主持分	7,213	7,173
純資産合計	203,353	202,753
負債純資産合計	370,197	368,088

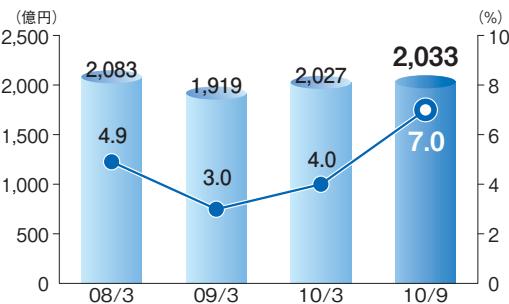
■ 営業利益 / ● 営業利益率



■ 総資産 / ● 自己資本比率



■ 純資産 / ● ROE



(注) 10/9は四半期純利益を2倍して計算しています。

(注) 自己資本は期首、期末の平均値です。

(注) 金額は、百万円未満を切捨表示しております。

■ 四半期連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期(累計) 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2009年4月1日から 2009年9月30日まで
売上高	331,311	281,368
売上原価	294,287	250,793
売上総利益	37,023	30,574
販売費及び一般管理費	26,490	25,312
営業利益	10,533	5,262
営業外収益	1,328	1,043
営業外費用	491	508
経常利益	11,369	5,796
特別利益	474	55
特別損失	747	362
税金等調整前四半期純利益	11,096	5,489
法人税、住民税及び事業税	4,160	2,343
法人税等調整額	△275	△55
少数株主利益	361	106
四半期純利益	6,849	3,095

（注）金額は、百万円未満を切捨表示しております。

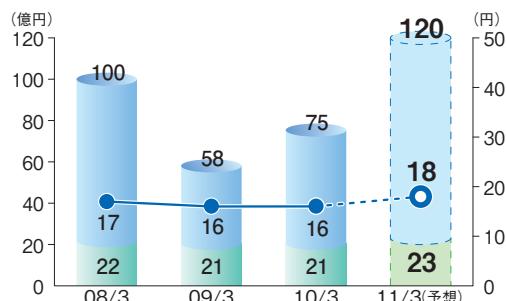
■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期(累計) 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2009年4月1日から 2009年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,455	25,471
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,858	△15,408
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,540	△8,457
現金及び現金同等物に係る換算差額	△704	304
現金及び現金同等物の増減額	△1,566	1,909
現金及び現金同等物の期首残高	42,807	36,137
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	204	6
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,445	38,053

（注）金額は、百万円未満を切捨表示しております。

■ 当期純利益 / 配当総額 / 1株当たり配当金



営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上の増加に伴う売上債権、棚卸資産の増加により運転資金が増加したものの、税金等調整前四半期純利益の計上が110億9千万円あったことなどにより、24億5千万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより、58億5千万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどがありましたが、短期借入金の増加により25億4千万円の収入となりました。

より詳細な財務情報については、<http://www.nagase.co.jp/ir/> をご覧下さい。

長瀬産業 IR

検索

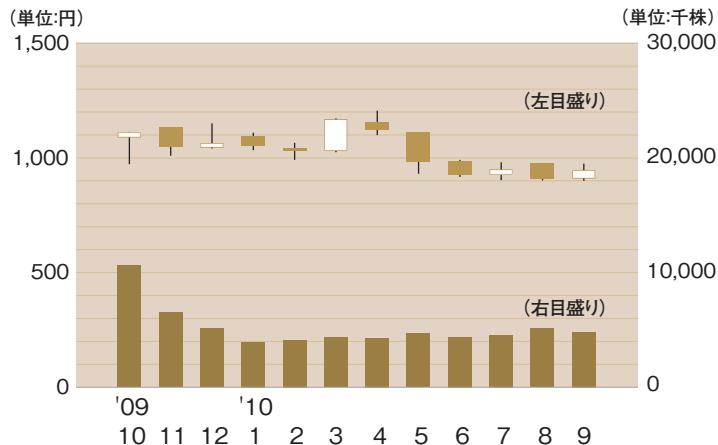
■ 会社概要

商号 長瀬産業株式会社 NAGASE & CO., LTD.
 創業 1832年(天保3年)6月18日
 設立 1917年(大正6年)12月9日
 資本金 9,699百万円
 従業員 993名(連結4,635名)
 主要な事業内容 化学品、合成樹脂、電子材料、化粧品、健康食品等の輸出・輸入及び国内販売
 主要な事業所 大阪本社、東京本社、名古屋支店、ナガセR&Dセンター(兵庫県神戸市)、ナガセアプリケーションワークショップ(兵庫県尼崎市)、堺営業所(大阪府堺市)

■ 取締役・監査役

代表取締役社長兼執行役員	長瀬 洋	取締役兼執行役員	山口 俊郎
代表取締役兼専務執行役員	鶴岡 誠	社外取締役	新美 春之
代表取締役兼専務執行役員	関子 恭一	社外取締役	仲村 巖
代表取締役兼専務執行役員	長瀬 玲二	監査役(常勤)	山下 秀男
取締役兼常務執行役員	馬場 信吾	監査役(常勤)	小西 哲和
取締役兼常務執行役員	永島 一夫	監査役(常勤)	長田 孝英
取締役兼執行役員	松木 健一	監査役	高野 利雄

■ 株価・出来高の推移



■ 株式の状況

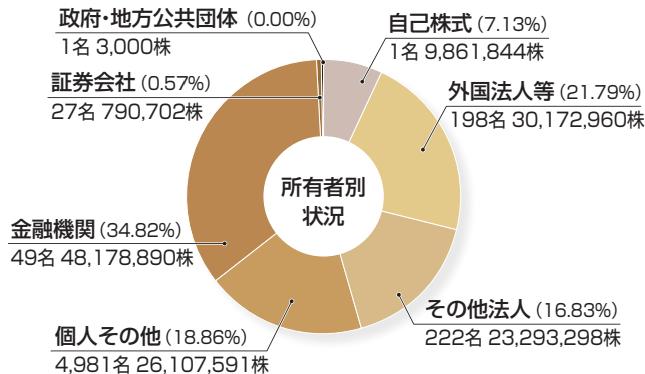
発行可能株式総数 346,980,000株
 発行済株式の総数 138,408,285株
 株主数 5,479名

大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数 千株	持株比率 %
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS	7,964	5.75
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,821	4.93
住友信託銀行株式会社	5,776	4.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,672	4.10
日本生命保険相互会社	4,984	3.60
株式会社三井住友銀行	4,377	3.16
長瀬 洋	4,213	3.04
長瀬 令子	3,522	2.54
NORTHERN TRUST CO. AVFC RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	3,132	2.26
三井住友海上火災保険株式会社	2,951	2.13

(注) 1. 当社の自己株式9,861千株(7.13%)は上記の表には含めておりません。
 2. 長瀬洋の所有株式数には、長瀬産業役員持株会名義の株式数が含まれております。

所有者別株式分布状況



CSR活動のご報告

Report of CSR activity

1 CSR報告書2010を発行

2010年8月に当社として初のCSR報告書を発行しました。今回の報告書は電子ブック方式で作成しており、当社のホームページ内の「CSR（環境・社会）」ページにてご覧いただけます。株主の皆様のご利便性を考慮し、以下に電子ブックの使い方を

まとめました。ナガセグループのCSR活動が企業理念・ビジョンの実現であることをご理解いただけるよう、人が財産である「知恵をビジネスにする技術・情報企業」としての現場の事例および社員の活動を中心に報告しています。ぜひ一度ご覧ください。

ナガセグループ
CSR報告書2010
電子ブックの使い方



紙をめくる感覚で
ページめくり

実際に印刷された冊子を読む感覚でページをめくります。ページの端をドラッグすることでもページをめくることができます。

ペン・付箋機能で
気になる箇所をチェック
気になる箇所に書き込む・
ラインを引く、気になるペー
ジに付箋を貼ることができます。
線の色・太さ、
付箋の色も選べます。

操作の疑問点は
ヘルプで確認

その他、操作上不明な点は
操作ヘルプで確認する
ことができます。

CSR報告書へのアクセス [トップページ > CSR\(環境・社会\) > 環境 > CSR報告書](http://www.nagase.co.jp/csr/enviroment/environmental-report/fy2010/index.html#page=1)

<http://www.nagase.co.jp/csr/enviroment/environmental-report/fy2010/index.html#page=1>

2 『くるみん』を取得

当社は、2010年5月21日付けで大阪労働局より認定を受け、子育て支援企業の認定マークである「くるみん」を取得しました。「くるみん」は、仕事と子育ての両立を支援する取り組みを推進した事業主が厚生労働大臣より与えられる認定マークの愛称です。

当社では、中期経営計画「CHANGE'11」の重点施策の一つとして「ダイバーシティとワークライフバランスの支援」を推進しています。育児時短勤務制度の導入などの活動が評価され、今回の認定となりました。今後も更なるワークライフバランスの向上に努め、社員がより働きやすい職場環境の構築を目指していきます。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先	☎ 0120-176-417
ホームページURL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL <http://www.nagase.co.jp/>

単元株式数 1,000株

株主に対する特典 毎年3月31日現在の株主名簿に記録された1,000株以上保有の株主を対象に、自社もしくはグループ会社の商品を贈呈。

上場証券取引所 東京・大阪証券取引所 市場第一部

単元株式変更のご案内

当社では、株式の流動性向上および個人投資家を中心とする投資家層の拡大を図るため、**2011年4月1日より、単元株式を1,000株から100株に変更します。**これにより、当社の株式は証券市場において100株単位での売買が可能となります。

※2011年3月31日までは、当社の単元株式は従来通り1,000株です。

単元未満株式の買取および買増制度について

当社では証券市場で株式を売買できる取引単位（単元株式）を1,000株とさせていただいており、単元未満株式（1～999株の株式）については、証券市場においては売買することができません。

そのため、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度（単元未満株式の買取請求）、およびご所有の単元未満株式に単元株式数に満たない株式数を買増していただき単元株式とする制度（単元未満株式の買増請求）がございます。

単元未満株式の買取請求および買増請求に関するお手続きの詳細については、お取引先の証券会社等（口座管理機関）にお問い合わせのうえ、お手続きください。また、特別口座に記録されている単元未満株式の買取請求および買増請求をされる場合は、特別口座の口座管理機関である住友信託銀行にお問い合わせのうえ、お手続きください。なお、買増請求につきましては、決算期（3月31日）、中間決算期（9月30日）または権利確定のために設けられる基準日の10営業日前の日から決算期、中間決算期または基準日までの間は、買増請求の受付を停止しておりますのであらかじめご了承ください。

株主に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といえます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

長瀬産業株式会社 <http://www.nagase.co.jp/>



環境保全のため、FSC™認証紙と植物性インキを使用しています。

